

フロンティア分科会・平和部会 第2回・2012/2/17



谷口智彦

TOMOHIKO.TOM.TANIGUCHI@GMAIL.COM

BackcastingとForecasting



- Backcasting starts with defining a desirable future and then works backwards to identify policies and programs that will connect the future to the present.
- a) 2050: 中国の属領・ドミニオン
- b) 2050: 国際公共財の建設・保全者
- 上の後者bを目指すには、2025年までが正念場
- 2021: 中国共産党創建百周年。台湾奪還の悲願。経済規模における米中逆転(仮令一時にもせよ)
- 米軍事予算に制約続きsub gapなど生じ得る

変わる同盟戦略



- The hub-and-spokes modelの終焉。北京との対峙一手引き受けは米国にも無理だから
- 多角形ないしネットワーク・モデルは各頂点国間の共助と協働を措定するもの
- 豪州ガーデン島は横須賀空母打撃群の「別宅」に。中距離弾道弾射程を逃れるため。日本列島の脆弱性忌避
- 集団的自衛権をアウトライトで是認(大臣談話で可能)し、行使の対象を豪州、インドネシア、越、インドなど含める
- 本部会は最低限ここだけでも合意に至るべき

窮屈になる日本の戦略空間



- 台湾が中国のものになったとき、第七艦隊はその抑止力を激減させざるを得ない。拱手傍観していいか
- 中国の考えるシーレーンの一つではない。その伸びる方角に拠点となる布石をうちつつある
- これらをスライドで眺める
- その意味するところ⇒日本の戦略空間は、歴史上かつてなかったほど狭隘化する
- これに受け身で対応すると、シナリオa)になりかねない
- 海洋民主主義勢力との連携強化が至上課題となる

最後に皇統について



- 絶やしては何か定義不能だが大きなものを失う
- 心理的・精神的に最大の不確定要因
- 少子化・人口縮減の象徴にしてはならない
- 4部会のうち本部会で扱うべき問題と考える
- Blood poolの量的拡大に向けた智慧、絞る要

● 了